

令和7年度 豊橋市立芦原小学校経営方針

1 本校の教育目標

『 忍耐と活力 』

つよく (体)

たかく (知)

あたたかく (徳)

元気いっぱい

工夫いっぱい

笑顔いっぱい

活力にあふれ、粘り強くやり抜くことができる「知・徳・体」の調和のとれた子どもの育成

心身ともに健やかで、楽しく学び合う芦原っ子

2 経営方針

- (1) 自己肯定感を育み、たくましくしなやかな心と体をもった子どもを育成し、温かな気持ちでかかわり合える学級・学校づくりに努める
- (2) 粘り強く学び、互いに認め合い高め合う力を伸ばし、自己表現力を基盤とした確かな学力を育成する
- (3) 「自分のいのちは自分で守る」ことができる力を育成する
- (4) 教育公務員としての資質や授業力向上の高い意識、働き方改革への意識をもち、チームとして学校を支える教師集団を目指す

3 重点努力目標（短期目標）

- (1) 自己肯定感を育み、たくましくしなやかな心と体をもった子どもを育成し、温かな気持ちでかかわり合える学級・学校づくりに努める
 - ①『自己肯定感』や『レジリエンス』(たくましくしなやかな心、困難を乗り越える力)の育成
 - ・自分も相手も大切にできる心をもち、たくましくしなやかな強さをもって生きていくための心の土台づくり
 - ②自ら考えて動き出せるような場の設定と働きかけ
 - ・JRCボードの活用、黙働清掃、代表委員会を活用して委員会活動の活性化
→一人一人が個性を發揮し、輝きが放てる場を設定
 - ③心をつなぐあいさつの励行
 - ・「大きな声で」「自分から」「相手の顔を見て」「笑顔で」を合言葉に習慣化
 - ④学校生活全般にわたった道徳教育の充実
 - ・互いに認め合うとともに、相手の立場にたって、相手の気持ちを考えられる子の育成
→自身や友だちのよさを認める場の設定、プチハッピービー見つけ、プチハッピーワード実践
- (2) 粘り強く学び、互いに認め合い高め合う力を伸ばし、自己表現力を基盤とした確かな学力を育成する
 - ① 基礎基本の定着
 - ・「芦原学習スタイル」の定着
 - ・漢字、計算テスト⇒「やればできる」を実感 … 年に2回実施（9月と2月）
 - ② 思いや考えを伝え合い、深め合うことができる授業づくり→対話力の育成
 - ・すべての教育活動において「聴く力」(相手を受容する姿勢と心)と「話す力」(自信をもって自分なりの思いや考えを発表したり、相手にわかりやすく伝えたりする力)の向上を目指す
- (3) 「自分のいのちは自分で守る」ことができる力を育成する（安全意識の向上、安全教育の充実）
 - ① 日常生活の中で、安全に配慮した行動がとれるような働きかけ
 - ・交通安全、生活・学習の中での安全
 - ② 非常時における対応力の育成
 - ・緊急時にいきる避難訓練（さまざまな場面を想定して）
- (4) 教育公務員としての資質や授業力向上への高い意識、働き方改革への意識をもち、チームとして学校を支える教師集団を目指す
 - ① 授業研究、さまざまな研修を通して互いに学び合い、高め合う教員集団
 - ② 目標に向けて全職員が一丸となって取り組むチームワーク